

学校教育目標「自分で考え 正しく判断し 最後までやり抜く生徒」



学校
HP

目指す学校像「共に学び合う学校」「共に支え合う学校」「共に高め合う学校」

目指す生徒像「求めて学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましい生徒」

小値賀町立小値賀中学校

文責：校長 張本 潤

第26回中高合同体育祭

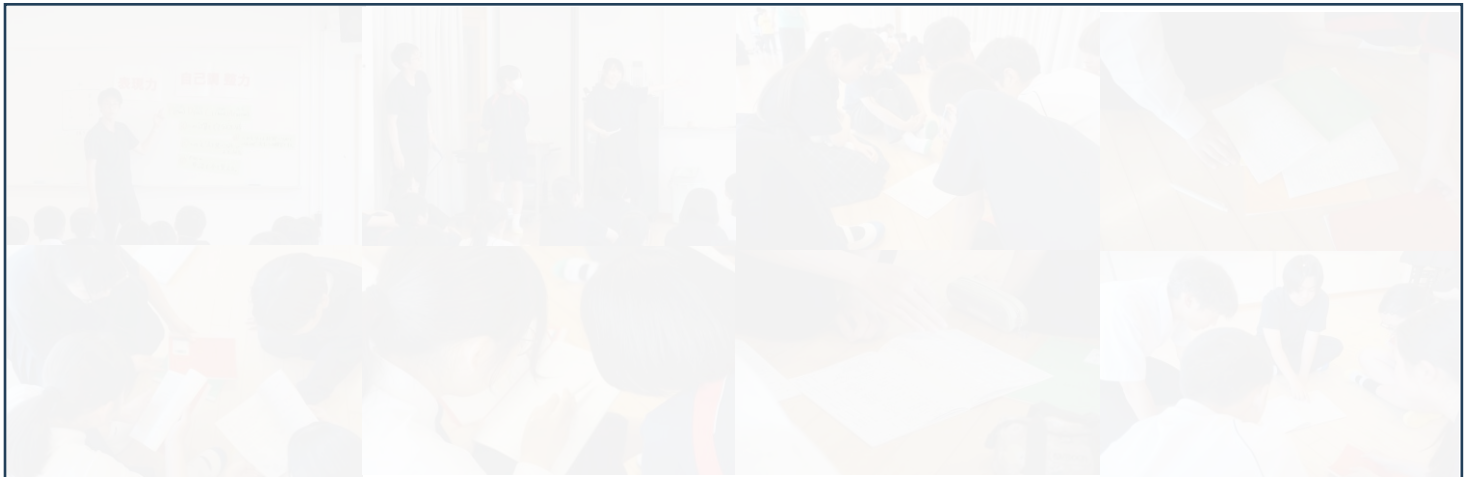
5月17日（日）、「Over the top～限界を超えろ～」のスローガンのもと、第26回中高合同体育祭が開催されました。



当日は天候にも恵まれ、多くの保護者の皆様、地域の方々に足を運んでいただきました。1年生は驚きと緊張の中、先輩たちの指示を聞き、きびきびと行動していました。2年生は、競技に一生懸命取り組むとともに、集団の一員として、点数に表れない部分にもこだわって活動していました。3年生は、真剣な眼差しで競技に向かい、係活動にも責任を持って取り組むとともに、大きな声で仲間を応援し鼓舞するなど、リーダーとしての姿が見られました。温かいご声援、本当にありがとうございました。

学習方法グループミーティング

5/25（月）に全校生徒で学習方法グループミーティング行いました。これは、これまでの自分の学習方法を振り返ること。2・3年生は、他の人の勉強方法を聞いて、自分の学習方法を進化させること。1年生は、先輩たちの話を聞いて、たくさんの学習方法を知り試すこと。これらを目的にそれぞれの学習方法について、意見交換を行いました。



ミーティングでは、「インプットするだけでなく、アウトプットすることが大切」「問題を解いたり書いて覚えたりするためには、ある程度の時間が必要」「学習時間に耐える力をつけることも大事」などの意見がありました。

家庭学習では、「インプット」と「アウトプット」をバランスよく行うことが大切です。インプットは、教科書を読む、漢字や単語を覚えるなど、「知識を取り入れる学習」です。アウトプットは、問題を解く、説明する、書く、音読するなど、「学んだことを使う学習です。」覚えるだけでなく、実際に使うことで、理解が深まり、記憶にも残りやすくなります。

例えば、学んだことを家の人に説明することも大切な学習です。ご家庭でも、「今日何を勉強した？」「どんなことがわかった？」「説明してみて」と声をかけていただくことも、子どもたちにとって大切なアウトプットの機会になります。家庭学習では、「学んだことを使ってみることを意識することで、より深い学びにつながります。